

令和6年度 岩手県立盛岡第一高等学校経営計画

校長： 高橋 一佳

1 校訓・教育目標	忠實自彊 質實剛健 時代の先駆者として、社会に広く貢献する人間を育成する		
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	時代の先駆者を育成すべく、「忠實自彊」「質實剛健」の校訓の下、次の資質・能力等を育成します。 (1) 学際融合の幅広い知識・技能、様々な場面で活用できる知識・技能。 (2) 課題解決型学習に必要となる問題発見能力、問題解決能力、論理的思考力、批判的思考力、根拠を示して判断する力。 (3) 知的好奇心に溢れ、物事を計画的に最後まで粘り強くやり遂げる力、協働的に物事を進めるためのコミュニケーション力、社会への発信力・実践力、倫理観。	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	「忠實自彊」「質實剛健」の校訓の下、下記の教育活動に力を入れながら探究型の学習を実践することにより、主体的・対話的で深い学びを実現し、高いレベルの教育を実践します。 (1) 3年生からの文理選択(普通科)、理科4科目履修(理数科)による学際的な学び。 (2) M探(普通科・総合的な探究の時間)、理数探究(理数科)での課題研究を始め、各教科で探究型の学習、教科横断的な視点の学習。 (3) 数理・データサイエンス・AIを活用して社会課題等の解決に向けた探究的活動。 (4) グループワーク、ディベート、プレゼンテーション等の言語活動。 (5) 自治体、企業、高等教育機関、研究機関等との連携やSGHネットワークとの連携、海外派遣事業(M探、白聖の翼)によるグローバルな連携など外部機関と連携した取組。 (6) ICTを有効活用した教育の推進。	
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校への入学を強く希望し、下記の資質・能力等を有する意欲溢れる生徒の入学を望みます。 (1) 中学校までに学習する各教科の基礎的・基本的な知識・技能。 (2) 身につけた知識・技能を様々な場面で活用する力。 (3) 知的好奇心や学ぶ意欲、新しいことへのチャレンジ精神。 (4) 時間の厳守や挨拶の励行等の基本的な生活習慣。	
3 魅力化協働パートナー	岩手県、盛岡市、岩手大学、岩手医科大学、東北大学、国立政治大学(台北)、政治大学附属高級中学(台北)、慈済大学附属高級中学(花蓮)、TOLIC、やまがたAI部		
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 未来志向のまなびデザインの構築	・「自ら学びに向かう意欲を引き出すような学習指導が行われている」と答えた生徒の割合 85%以上
		イ 生徒の自主性を尊重した進路指導	・「一人ひとりの進路実現を目指した指導を適切に行っている」と答えた生徒の割合 85%以上
		ウ 自律の精神の育成と自他を尊重する教育	・人が困っているときは進んで助けようと思うと肯定的に答えた生徒の割合 90%以上
		エ 健やかな体と豊かな感性を培う教育	・ヘルスプロモーションに対する意識の向上を図っている生徒の割合 85%以上
		オ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・「面談やアンケートなどを通していじめのない学校づくりがなされている」と答えた生徒の割合 85%以上
		カ 教員の生徒に対する不適切な指導の根絶	・「学校生活に満足している」と答えた生徒の割合 85%以上
	(2) 取組方針	ア 未来志向のまなびデザインの構築 (7) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実、「主体的・対話的で深い学び」の実現による確かな学力の育成 (4) 文理の枠を超えた教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成	

(様式1)【高等学校用】

	(ウ) 探究・STEAM教育推進事業を活用した探究活動の展開による課題発見・解決能力の育成 (エ) 高等学校等デジタル人材育成支援事業を活用した、デジタルを活用した授業等を実施するための設備の整備、数理・データサイエンス・AIを活用した探究活動等の充実による情報活用能力の育成 (オ) ICT等の有効活用による授業改善等を通じた教育活動の質の向上
	イ 生徒の自主性を尊重した進路指導 (7) 生徒の自己教育力の涵養、自走する生徒の育成 (イ) いわて進学支援ネットワーク事業等を活用した進学指導の充実 (ウ) 生徒の自己決定を促すキャリアガイダンスの推進
	ウ 自律の精神の育成と自他を尊重する教育 (7) 挨拶の励行、時間を意識した行動ができる生徒の育成 (イ) 正しい判断力と道徳心を備え、責任のある行動ができる生徒の育成 (ウ) 教育活動全体を通じた生命尊重の態度を育む取組の推進
	エ 健やかな体と豊かな感性を培う教育 (7) 生徒の実態に即したヘルスプロモーションの推進 (イ) 自主的・自発的な部活動・生徒会活動等を通じた、総合的な人間力の向上
	オ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止 (7) 生徒の「心の居場所」を提供するとともに「絆づくりの場」を保障 (イ) 早期発見と解消に向けた適切な対処 (ウ) 教職員のいじめに対応できる資質・能力向上を図る校内研修の充実
	カ 教員の生徒に対する不適切な指導の根絶 (7) 不適切な指導の根絶に向けた「宣言」の策定及び周知 (イ) 不適切な指導の防止に向けた研修の充実 (ウ) 教職員等が自身の指導方法や抱える悩み等を相談しあえる雰囲気醸成

学校設定目標値

(1) 未来志向のまなびデザインの構築			
ア 「自ら学びに向かう意欲を引き出すような学習指導が行われている」と答えた生徒の割合	85%	生徒アンケート	
イ 課題解決に向けた探究的活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合	85%	生徒アンケート	
(2) 生徒の自主性を尊重した進路指導			
ア 「学校は一人ひとりの進路希望の実現を目指した指導を適切に行っている」と答えた生徒の割合	85%	生徒アンケート	
イ 「生徒が必要としている進路情報が十分に提供されている」と答えた生徒の割合	85%	生徒アンケート	
(3) 自律の精神の育成と自他を尊重する教育			
ア 人が困っているときは進んで助けようと思う生徒の割合（肯定的回答）	90%	高2意識調査	
イ 交通ルール等の社会規範を守る態度が身についている生徒の割合	90%	生徒アンケート	
ウ 自ら進んで挨拶をしている生徒の割合（肯定的回答）	80%	生徒アンケート	
(4) 健やかな体と豊かな感性を培う教育			
ア ヘルスプロモーションに対する意識の向上を図っている生徒の割合	85%	生徒アンケート	
イ 部活動や生徒会活動等に自主的・自発的に取り組んでいる生徒の割合	85%	生徒アンケート	
(5) 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止			
ア 「面談やアンケートなどを通していじめのない学校づくりがなされている」と答えた生徒の割合	85%	生徒アンケート	
(6) 教員の生徒に対する不適切な指導の根絶			
ア 学校生活に満足していると答えた生徒の割合	85%	高2意識調査	

(様式1)【高等学校用】